

**グローバル人材育成事業 ワークショップ及び、成果報告会
企画・運營業務委託プロポーザル審査基準**

1 基本的な考え方

本業務の受託者の決定にあたっては、「グローバル人材育成事業 ワークショップ及び、成果報告会企画・運營業務委託プロポーザル募集要項」「グローバル人材育成事業 ワークショップ及び、成果報告会企画・運營業務委託要求水準書」などの関係書類を基本としたうえで、提出された提案書の内容やヒアリングでの説明、質疑応答から各提案者を審査して受託候補者の順位づけを行う。

2 評価基準及び配点

審査は、100点を満点とし、評価基準は別表「評価基準」のとおりとする。

3 評価点数

評価の際には、各項目の審査基準を参考とし、審査項目ごとに5段階で評価を行う。

評価の際には「普通」を基準として、それよりもどの程度優れているか、劣っているかを判断するものとする。

評価	配点が10点の場合	配点が15点の場合	配点が25点の場合
大変優れている	10	15	25
優れている	8	12	20
普通	6	9	15
劣る	4	6	10
大変劣る	2	3	5
記載なし	0	0	0

4 受託候補者の決定方法

選考委員の採点により、次の条件に従い順次選定する。ただし、全選考委員の平均得点が60点に満たない場合は要求水準を満たしていないとみなして、受託候補者として選定しない。

【選定順】

- (1) 過半数を超える審査員から最高順位を得た者
- (2) (1)により決しない場合、全審査員の合計得点が最高得点の者
- (3) 最高点の者が複数いる場合は、以下の評価点の合計が最も高い者
 - ・ ワークショップの実施体制及び実施内容
 - ・ 成果報告会の実施体制及び実施内容

5 その他留意事項

- (1) 選考委員への接触は、直接、間接を問わず禁じているので、万が一、接触があった場合には事務局に連絡するものとする。
- (2) 評価については、提案審査の当日に行うものとする。
- (3) 提案書審査及びプレゼンテーションにおいては、提案者の提案作成技術又は説明技術等によらず、提案内容の優劣について審査するものとする。

評価基準

評価項目	審査項目	審査事項	配点
事業者の実績及び能力に対する評価	①事業者の業務実績	<ul style="list-style-type: none"> ・類似業務において提案者が果たした役割は、本業務遂行に見合った実績として評価できるか。 ・総括責任者及び担当者のこれまでの実務経験、専門的知識などから、高い業務遂行能力が期待できるか。 	10
		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップを確実に実施することができる体制が構築されているか。 	15
企画提案に対する評価	②ワークショップの実施体制及び実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの実施内容は、「グローバル人材とは何か」というテーマに沿っており、効果的でかつ、参加者がやる気を持って楽しみながら取り組める内容となっているか。また、時間配分は適切か。 	25
		<ul style="list-style-type: none"> ・成果報告会を確実に実施することができる体制が構築されているか。 	15
	③成果報告会の実施体制及び実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が、プロジェクトの一連の成果報告を効果的に発表・考察することのできる効果的な手法、実施内容となっているか。また、時間配分は適切か。 	25
		④業務の工程計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ及び成果報告会の準備期間において、発注者との協議や、意向を組み入れる機会が十分に確保されているか。
合計			100